

ROLF RAINER FOOTWEAR since 1923

始めの一步から

人間の足というものは、その人の一生を負っているものである。
人は、一生の間十六万キロメートル（地球四周分）も歩いている。
この膨大な距離を安全に気持ちよく果たすために、二千年前から、靴という道連れが欠かせないものとなった。
われわれの足の第二の皮膚である靴が、硬すぎず柔らかすぎず、パーフェクトにフィットすることが、毎日の歩行に欠かせないことなのだ。

靴職人の技

靴を作るためには、三百以上もの工程がある。
最も肝心なものが、木をその人の足の形どおりに作った木型である。
足の指の均整のとれかた、甲の高さ、足の幅、丸み、すべて正確に寸法を取らなければならない。
そして革を型に合うように各部分（甲より上、内部の二重層、つま先、くるぶし）それぞれを別々に裁断し、縫い合わせ、最後に靴底とかかとと縫合する。
1923年、ライナーの祖父によって、手作りの靴職人の店、ライナー靴店が始められた。そして今日まで、伝統の手作り職人の気質と技術が祖父、父そして息子とロルフ・ライナー親子3代にわたって受け継がれてきている。

時代とともに

また、最近では、手作りの手法を守りながらも、これに併せて最新技術を取り入れてきてもいる。
コルク材と特別な革により、ショックがやわらげられるようになった。
1998年より、足の寸法をより正確に取るため、スキャナーを使用している。
足の負荷分析のテクニックや、靴のフォームの新しい学術的知識など、常に最先端の情報をキャッチすることも欠かせない。

木型が靴を作る

靴のデザインは、はく人の体全体（体系、動き）に、そぐうものでなければならない。
地質や気候に適し、かつ機能的で、材質の正しいものでなければならない。
寒さや水から足を守るためだけではなく、足の動きを高め、皮膚呼吸を促進させることができるのが、靴の理想である。

靴が世界を広げる

どんな材質を用いるのか、その選択により個性的な靴となる。伝統的な子牛やヤギ、羊の革にするか、またはカンガルーで斬新的な靴とするか。

経験豊かな店員が、責任を持って、お客様にぴったりの靴を作り出すお手伝いをいたします。

クラシックな素朴なものから、遊び心のあるもの、凝ったデザインのもの、また、単色からカラフルなものまでと、どの一足も、手作りの、お客様のためだけの一品ものである。

サービス一覧

あつらえ靴

- ・ アポによる、サイズ取り、中間試着、訂正
- ・ 革
- ・ ぶな財の木型は店に保存
- ・ 足の負荷分析
- ・ 個人ごとのスタイル
- ・ 3ヶ月で仕上げ
- ・ 見積もり作成

半既製靴

- ・ 足幅、足の長さの調整
- ・ 2ヶ月で仕上げ、350ユーロより

既製靴

- ・ ロルフ・ライナーが選んだ、足に優しい靴を紹介

快適さをめざして

- ・ 整形外科的の最新知識に基づく既製靴の修正
- ・ 足に合わせたインレイ

修理

- ・ 迅速かつ確かなアフターサービス
- ・ 靴底直しから靴磨きまで、手頃な値段にて
- ・ 宅配サービスあり